

TAC・Wセミナー 2024・2025年度合格目標

国家総合職内定者アドバイザーホームルーム

第3回『国家総合職合格への道～We are never alone～』

12月13日(水)新宿校・12月15日(金)オンライン



本日の予定

1. LAの軽い自己紹介
2. 模試活用法
3. 年末年始の過ごし方
4. 民間就活、公務員併願のあれこれ
5. 専門区分の勉強スケジュール
6. 今後の告知

無断複製（コピー等）・無断転載等を禁じます。

【HRとは】

私たち国家総合職内定者アドバイザー（LA）が皆さんの試験勉強と官庁訪問対策をサポートする機会です。内定に近づくための全6回のHRを用意しています。

基本的に月一回のペースで新宿校とオンラインにて開催する予定です。内定者スタッフが就活生だった去年の同じ時期に不安に思っていたことや、欲しかった情報などを徹底的に分かりやすくお伝えしたいと思っています。

途中入場・退出は自由です。日ごろの勉強の息抜きに、小さな悩みを解消するために、内定者にしか分からない話を聞きに、お気軽にご参加ください！

【今後の予定】

第4回HR

「国家総合職合格への道～？？～」

内容：省庁研究のアドバイス・記述対策（仮）

1/19（金）18：30～19：30 オンライン

1/24（水）16：30～17：30 新宿校

第5回HR

「国家総合職合格への道～？？～」

内容：官庁訪問の噂と真実・志望動機カウンセリング（仮）

2/9（金）18：30～19：30 オンライン

2/14（水）16：30～17：30 新宿校

第6回HR

「国家総合職合格への道～？？～」

内容：官庁訪問対策・二次試験に向けた直前準備（仮）

3/21（木）16：30～17：30 新宿校

3/26（火）18：30～19：30 オンライン

（日程・校舎にご注意ください）

【LAの自己紹介】

曽山 稔理

内閣府/慶應義塾大学法学部法律学科/法律区分

【併願先】厚生労働省、衆議院事務局総合職、
参議院法制局総合職、東京都庁、国家一般職、
(横浜市役所、裁判所事務官)

【訪問先】内閣府、厚生労働省

【講座】法律本科生

【専攻】刑法

【得意科目】憲法、行政法

【苦手科目】民法、専門記述

【しておいて良かったこと】省庁説明会への参加、官庁訪問自主ゼミへの参加(2次試験後に始まります)、TAC内定者ホームルームへの参加(毎月新宿に行っていました！)

【マイブーム】バ畜(意外と体が頑丈なことに気づく)、街中の標識・標示を見ること(教習所通い始めたので)

【メッセージ】寒くなってきましたね。勉強や自己分析を続ける毎日に少し疲れたなって人も多いかもしれません。私は去年の12月はかなりメンタルがやられていました。問題を解きながら不安で涙が…。帰り道に温かい飲み物や美味しいスイーツを買ってみたり、友達に連絡したり、LAに不安を打ち明けたり、自分なりの不安解消法をぜひ見つけてください。



北 圭佑

デジタル庁/横浜国立大学経済学部経済学科/経済区分

【併願先】人事院

【訪問先】デジタル庁・人事院

【講座】経済本科生

【専攻】財政学

【得意科目】数的処理、経済原論

【苦手科目】社会科学

【しておいてよかったこと】説明会に積極的に参加すること、
官庁訪問自主ゼミ、ランニング

【マイブーム】バドミントン、キャッチボール、マロッシュ

【メッセージ】経済区分のことなら何でも聞いてください！

個人的にデジタル庁の雰囲気が他省庁と比べてかなり自由で上司との距離感が近いということをお伝えしたいです。

質問や相談、何でも気軽にどうぞ！！



高崎 萌寧

外務省/早稲田大学法学部/政治・国際区分

【併願先】農林水産省、民間（コンサル）

【訪問先】外務省、農林水産省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】民事訴訟法

【得意科目】文章理解、数的処理

【苦手科目】政治学・国際関係

【しておいて良かったこと】

TACカウンセリング、省庁イベント参加（双方向コミュニケーション可能なもの）、民間就活（自己分析に役立ちます！）

【マイブーム】物件比較

【メッセージ】

TACの勉強スケジュールに則って勉強できていなくて不安だなあって方ぜひ短期型の勉強方法についてご相談ください！

民間就活との両立についてでも何でもお気軽にご相談ください！



吉田 統磨

外務省/早稲田大学法学部/政治・国際区分

【併願先】経済産業省、民間（WEB広告、総合商社、JAXA等）

【訪問先】外務省、経済産業省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】国際法

【得意科目】政治学、国際関係、憲法、国際法

【苦手科目】数的処理、自然科学

【しておいて良かったこと】

①採用担当との個別面談・イベントの参加

②自己分析（ほぼ毎日）と面接練習（週4）

③民間就活：自分が本当にしたいこと、自己分析の前倒し

【マイブーム】筋トレ、美術鑑賞、歴史の学び直し

【メッセージ】

試験対策をしている間、不安で眠れない日もあれば、解ける問題が増えて嬉しい日もあります。あまり気負いすぎる必要はありませんが、就活が終わった際に「やりきった」と思えるよう、一日一日を大切に過ごしていただければと思います。



高田 萌奈

農林水産省/東京外国語大学言語文化学部/教養区分

【併願先】国土交通省、民間企業（金融）

【訪問先】農林水産省、国土交通省

【講座】1.5年法律本科生

【専攻】イタリア

【得意科目】文章理解、官庁訪問

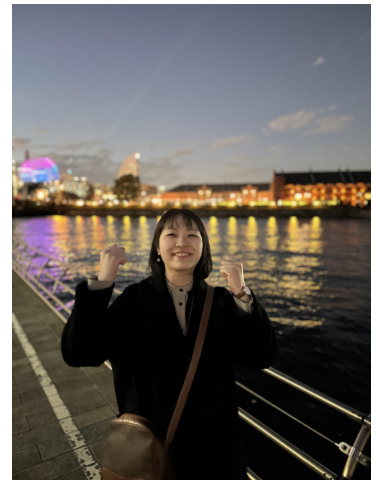
【苦手科目】数的処理、企画提案

【しておいてよかったこと】省庁イベントへの積極的な参加、内定者カウンセリング

【マイブーム】ニトリのNウォーム、引っ越し前の断捨離（迷ったらとりま捨てる）

【メッセージ】

皆さんの不安を解消できるよう、自分自身の経験も交えながら、全力でサポートさせていただきます。1対1で内定者カウンセリングも行っておりますので、お気軽にお申込みください！
教養区分が終わりほっと一息ついている方、農林水産省ちょっと興味あるよって方、最近黙々と勉強しているからなんか雑談がしたい気分かもという方、ぜひ(^^)／



【模試活用法】

春試験まで4か月を切りました！合格に向けて日々勉強に邁進していると思いますが、試験が近づくほど、自分の実力や立ち位置が知りたくなるのではないのでしょうか？そこで、今回は自分の実力を測るのに**最も有効な模試の活用法**についてお話します。

【模試前】

●曾山（法律）

各科目・各分野の**目標点**を設定していました。数的処理8点、文章理解10点、知識7点、専門科目は7割くらいを目標にしていたと思います。また、基礎能力の時間配分としては、知識問題15分、文章理解45分、数的処理120分でした。数処に全振りした時間配分にしたのは、知識問題は悩んでも仕方ないと割り切っていたのと、数的処理は日ごろの演習のおかげで苦手なりにも「時間をかければ解ける」状態まで持っていけていたからです。ただ、**解ける/解けないの見極め**に失敗すると、どの問題も解けないまま120分が過ぎていく危険があるので、そこは慎重に行いました。

●北（経済）

論文模試しか私は受けていないのですが、予め**時間配分と解く順番**を決めておきました。

気を付けてほしいのは**論文模試は一次試験後には行われぬ上に1回のみ開催**ということです。そのため択一がまだ完成してないから。。。といって受けないのはもったいないです！

ぜひうけてみましょう！

●高崎（政治・国際）

【基礎能力】については、文章理解：満点、数的処理は資料解釈・数的推理の問題全問正解という目標を立てて臨んでいました。（実際は、文章理解10点、数的処理9点、一般知識5点でした）**いい点数をとるというよりは、どの順番で解くのが自分にあっているのか、各分野の問題にどれくらい時間がかかるのかを見極める場として活用していました。**

【専門科目】については、政治学・国際関係の講義をようやく見終わったぐらいだったので、**講義動画を見たことで自分の頭にどれくらいの知識が残っているのか、今後どのような勉強が必要なのかを見極める場として使っていました。**（実際は、政治学6/10点、国際関係5/10点、憲法3/5点）また、択一科目の中で本番で解くことを想定していた科目（国際事情・財政学）が今の状態で何点とれるのかを確認する場として考えていました。（実際は、国際事情2/3点、財政学1/3点）

●吉田（政治・国際）

【基礎能力】については、**数的処理で5点、文章理解で10点、一般知識で5点**くらいを目指していましたが（実際の模試の結果は、4点・7点・7点くらいだったと記憶しています）。【専門科目】については、ある程度講義の視聴が進んでいた政治学と国際関係と憲法（基本的人権）でしっかり点数が取れるかどうかを意識していました。**現時点で取り組んでいる範囲の勉強の成果を確認することが目的なので、全体の点数が低いこと自体に落ち込む必要はない**です。大切なのは、これまでやってきた勉強（各科目にかけた時間、復習の質、暗記量など）が、**実際の点数としてあらわれているか？**という点です。まずはその点を確認しましょう。仮に、目標点数を超えていたとしても、それが「まぐれ」なのか「実力」なのかによって反省点が変わってくるので、点数自体にあまりこだわりすぎないのが良いです。

【模試当日】

●曾山（法律）

基礎能力試験に関しては、数的処理に必要な時間（目標120分）を確保できるように、文章を迅速に読み知識問題は素早く選択することを心がけていました。数的処理は、解ける問題と解けない問題を見極める練習をするために、最初にざっと問題を見て○△×をつけました。

専門択一試験は、見直しがしやすいよう、迷った選択肢に印をつけておきました。他にも、試験中にすぐ出てこなかった知識やあやふやだと感じたことはすべて問題用紙にメモしておいて、試験後に勉強し直しました。また、専門科目に関しては勉強次第でこれからぐんぐん伸びると思うので、模試で取れなくても「今分らない知識が確認できてよかった」くらいのマインドでいきましょう。私は民法が半分しか取れなかったなので、改めて模試後に力を入れて勉強しました。

●北（経済）

以下、論文模試での話です。

専門記述は試験時間が4時間（2024年度からは3時間30分で2科目解答）あったので3科目それぞれ約1時間で解いて残りの時間を見直しに充てるようにしました。

科目の選択はざっとみて一番得点が稼げそうなものを選びました。

政策論文は試験時間が2時間あったので、序盤の30分は資料を読んで構成を考える時間にしていました。事前に過去の合格者の再現解答を参考に論文のフォーマットを考えておき、それに当てはめるようにして書くことを意識していました。

●高崎（政治・国際）

試験前は、数的処理の資料解釈のレジュメを読み返したり、講義内容を書きこんだテキストをめぐりながら政治学・国際関係学の知識の確認をしていました。

【基礎能力】については、解く順番を工夫していました。具体的には、文章理解（1問5分まで、理想は3分）→知識分野（分からない問題は全てとばし、スピードを重視）→数的処理（資料解釈→数的推理→その他解きやすそうなものから）という順番です。私の場合、数的処理は時間さえかければ解ける問題が多かったので、自身の特徴を活かして本番想定で解いていました。数的処理については時間は特に気にせず、確実に正解を導くことを意識していました。

【専門科目】については、まずは必須解答問題を前から順に解いていました。次に、専門択一選択科目の中で、解くことを事前に決めていた国際事情・財政学2問を解いて、そのあとは解けそうな問題をその場で決めて解いていました。時間になり余裕があるので、時間配分は特に気にしなかったです。

●吉田（政治国際）

①まずは余裕をもって会場に入ること。これは本番でも変わらない重要なポイントです。時間ギリギリに到着し、ドキドキした状態で試験に臨むのと、余裕をもって会場につき、苦手個所をざっと復習してから臨むのとでは、**「記憶のよみがえり方」「精神的な安定感」**が全然違います。

②【基礎能力】

基礎能力については、数的処理・文章理解・一般知識、それぞれ解くのに何分かかかるかを把握しながら臨む。人によって得意不得意があると思います。私の場合は、文章理解は時間があれば解けるが、数的処理や一般知識は時間があっても解けない、もしくは所要時間に対してリターンが低い（自分で言っていて情けない）ので、文章理解にかける時間は削らない（45～60分）。数的処理は、資料解釈や計算問題（確率・場合の数）、判断推理に時間をかけて、それ以外の（普段から対策していない）問題については3分かけてわからなければ捨てる、すべて3を書いて答案を提出していました。

一般知識については、人文科学（世界史・日本史・地理・東洋／西洋哲学）、社会科学（政治学、憲法）、時事問題などでしっかり得点する。ただし今年度は、出題数が減少し、勉強量に対してのリターンが少ない点に注意。基礎能力に不安があるひとは、専門試験で点数を取る方が無難と思う。

③【専門科目】

専門科目については、ある程度講義の視聴が進んでいた必須科目の政治学と国際関係と憲法（基本的人権）でしっかり点数が取れるかどうかを意識していました。**現時点で取り組んでいる範囲の勉強の成果を確認することが目的なので、全体の点数が低いこと自体に落ち込む必要はない**です。私の場合、この時期の得点は、政治学7～8点、国際関係2～4点、憲法2～3点だったと記憶しています。二度目の模試からは、国際法と行政学、財政理論などを含めて、（やはり）勉強した範囲を得点できているか確認していただきました。専門科目の場合、解答に時間はあまりかかりませんでしたので、2、3周は見直し・解き直しをしていました。

【模試後】

●曾山（法律）

とりあえずその場で自己採点。翌日にカラオケに行って自分を労いました。

基礎能力試験に関しては、知識分野は解説を読む程度でした。文章理解で間違った場合は、間違い個所の確認と、なぜ間違ったのかを分析しました(脳の疲労で注意力が散漫になった、早とちりした、など)。数的処理は、「解けなかった/解く気がなかったけど解説読んだら意外と簡単だった問題」については特に注意して分析、解き直しを行いました。解説読んでもわかんねえやって思った問題は捨てました。

専門試験は、少しでも迷ったところ(試験中に印をつけた肢)は必ず解説を読み直し、テキストの該当箇所を強調したり新しい知識があれば書き込みました。

●北（経済）

記述解答の書き方を徹底的に学んでいました。記述試験となると択一では省いていた厳密な定義も記述では記載がもとめられることがあるので、文量と相談しながらできるだけ書けるように解答を何度も読みました。そして類題が問題集にある場合は、その問題を利用して学んだことをアウトプットできるようにしていました。

●高崎（政治・国際）

模試が終わってその日中（最悪でも次の日）までには自己採点をしていました。模試の問題は、**試験の予想問題でもあると考えていたので、【政治学・国際関係学】については念入りに復習していました。**具体的には、正誤問わず、解答と自分の選択肢を見比べて、なぜその選択肢を選んだのか、選択肢を選んだ理由は正しいものだったのか、選択肢を消した理由は正しいものだったのかを確認していました。その際に該当分野のテキストも読み込み、テキストのどこに書いてある箇所からその選択肢を導けるのかを必ずシュミレーションするようにして、次に同様の問題に取り組んだ際には必ず解ける復習を心がけていました。

基礎能力試験については、自分が自信を持って正解だと思ったのに、間違っていた問題のみ何故間違えたのかの確認をしていました。そんなに時間をかけていなかったです。

●吉田（政治・国際）

何度も言いますが、**全体の点数・順位・判定が低いこと自体は問題ではありません。**大切なのは、自分がこれまで勉強してきた科目範囲で、これまで取り組んできた復習や演習の**質（暗記・理解のレベル）・量（勉強にかけた時間・演習回数）**が、**しっかり得点に反映されているか**という点です。

勉強した分の点数が取れていれば、OK。**現状の質・量をキープしながら、同じ要領で科目範囲を増やしていきましょう。**もう既にすべての範囲が終わっているのであれば、暗記・理解にさらなる磨きをかけるべく、**問題集の周回や記述対策との両**

立もかねて専門書を読むなどしていきましょう。ヨシダは政治学の復習をかなり徹底的にやっていたこともあり、模試（本番ともに）7～8割をキープできていました。より細かな各国政治制度や国家制度論（最後の章にあるやつ）、日本明治思想やフェミニズムなどのあまり出題が多くない範囲の暗記にも取り組みました。

勉強した分の点数がとれていないのは、NG。復習の質があまりよくない状況です。講義を二倍速でみて満足していたり、暗記と理解を疎かにしている可能性があるのも、もう一度心配な範囲の講義を見直すなどしていきましょう。ヨシダは国際関係の点数がなかなか伸びず苦労していました。細かな知識が問われることも多いので、問題集の二周目に取り掛かり、最初に間違えた問題を正解するまで何度も何度も周回していました。米ソ冷戦史（重点：両国の方針、流れを覚える）、国際・地域機構（重点：組織の名前、役割、参加国）など、分野によって暗記事項の重点や復習方法が異なる点に手こずっていましたが、問題集を周回することで最終的には本番9割の得点ができました。やった～

※参考

今年度の模試スケジュール

- ・ 択一模試第1回 新宿校 12/15（金） 早稲田校 12/17（日）
- ・ 択一模試第2回 新宿校 1/19（金） 早稲田校 1/21（日）
- ・ 論文模試 新宿校 2/9（金） 早稲田校 2/11（日）

【年末年始の過ごし方】

○法律区分：曾山

多くの受験生が休むであろう（？）年末年始に勉強すればリードできるのでは？と思い、冬休み中も普段通り勉強するよう心掛けました。ただ、12/30～1/1まではスキー旅行に出かけていました(with民法テキスト)。

●気を付けること

体調管理に気を付けましょう。年末年始は病院が空いていないことも多いと思うので、とにかく手洗い、うがい、マスク、みかん等で予防を徹底しましょう。少しでも体調が悪く感じたら、勉強を切り上げ早めに寝るなどの勇気も必要です。

●アドバイス

体が冷えるとメンタルもやられやすいので、あったかくして過ごしましょう！オススメはジェラピケのもこもこ靴下と、ニトリの着る毛布です。

●勉強時間

午前中3時間程度、午後6～9時間程度だったと思います。

●勉強場所

大学の自習室、自宅

○経済区分：北

年末年始はもう振り切って遊ぶと心に決めて学習のスケジュールを計画を立てていました。（12/27～1/3まで帰省して息抜き）しかし遊ぶと言っても友人と就活の話や悩みを話して自己分析の糧にすることもありました。しっかり遊んだので心残りなく、勉強に切り替えて帰省を終えた後に良いスタートを切れました。

●気を付けること

遊ぶことももちろん大事ですが、説明会等の情報のキャッチを怠らないこと。
体調の管理を徹底すること。

●アドバイス

睡眠時間はしっかりととりましょう。また年末に突入する前にやりきった！という気持ちを掴んで、遊びに全力を尽くせると後ろめたい気持ちは、かなり軽減され

と思います。なんとなく遊びたいなという気持ちがある方は、年末の遊びの計画も緻密に立てて日々の学習のモチベーションにして、年末まで突っ走りましょう。

そしてきっと年が明けた後に現実と向き合うことになると思います。そこで私は、自分が今までやってきたことを一度振り返ること、周りの支えてくれる人たちの顔や言葉を思い出すことで、切り替えて就活に臨んで行きました。

- 勉強時間

年末年始の勉強時間は平均1時間。

- 勉強場所

自宅、ドトール

○政治国際区分：高崎

年末は、政治学・国際関係学の動画を見て、年始の最初の営業日にはTACの担任カウンセリングを受けていました。自分の勉強進度が人より遅れている自覚が大いにあったので、年末年始も普段と特に過ごし方は変えませんでした。1月末に重い重い大学の期末試験が何本もあり、公務員試験の勉強時間を全く確保できないと思い焦っていたのもあります。（実際、年末明けは公務員試験の勉強はほとんどしてません）ただ、いつもよりちょっと豪華なご飯をお家で食べて年末年始気分を味わっていました。

- 気を付けること

生活リズムの管理です。年末年始に遊びすぎたり疲れしたりして、年始後の勉強リズムを崩すわけにはいけないので、気をつけましょう。

- アドバイス

周りに惑わされず、自分の勉強ペースに合った過ごし方をしましょう。頑張ってきた人はもちろん息抜きにしてもいいですし、勉強が足りないなって方は普段通りの過ごし方をしましょう。街の楽し気な雰囲気には惑わされてはいけません。

- 勉強時間

1日6時間程度

- 勉強場所

自宅、ミスド、高倉町珈琲

○政治国際区分：吉田

●気を付けること

これまでしっかり勉強してきた人は、「現状維持」を目安に勉強するのがよいでしょう。年末年始だからと言って、根を詰めて勉強する必要はないと思います。「これだけはやっておく」というリストに3つだけ用意しておきましょう。私は憲法と国際法の講義を年末年始の裏番組として、部屋を明るくしながら画面に近づきすぎないようにして受講していました。時には友人や家族とゆっくり過ごしてリフレッシュしてもらえたらと思います。

これまであまり勉強できていなかった人は、そろそろ本気を出していきましょう。特に必須科目の勉強すらまだ十分できていない人は、帰省するかどうかも含めて再検討すべきだと思います。クリスマスや年末年始を勉強に充てている時というのは、今後も幾度となく訪れるであろう「我慢」の練習になります。少し厳しいことを言うと、ここで頑張ればこの先はもっと頑張れますし、ここでサボればこの先も変わらないと思います。泣いても笑っても残り3か月。振り返った時に「もっとやれたかもな」と後悔しないためにも、やるべきことをやってほしいと思います。困ったときはいつでも相談してください。

●アドバイス

一旦、「なぜ自分は国家公務員を目指しているのか」を考え直してみるといいかもしれません。確固たる意志・目標がみつければ、自ずと試験勉強にもブーストがかかりますし、あまり公務員になる意志が強くないのであれば、それはそれで悔いのない進路選択につながると思います。三月から民間就活も解禁されるので、一度しっかり時間をとって、よく自分自身のことを考えてみるのがよいでしょう。

●勉強時間

2～6時間

●勉強場所

帰省先、図書館

○教養区分：高田

年末年始は実家に帰省しました。省庁によっては教養区分合格者向け説明会が開催されていたため、志望していない省庁であっても官庁訪問などの情報を得るためにできる限りオンライン参加していました。また、帰省の機会を利用して、それまで説明会や座談会で学んだ内容を家族（父や犬）に説明するなどして頭を整理していました。イタリア渡航を1月下旬に控えていたのでその準備も行っていました。

- 気を付けること

きっと年が明けると怒涛の就活モードになるので、今のうちにしっかり休みましょう。しかし、もし民間就活も真剣に行うのならば、この時期の過ごし方が勝負の分け目になる可能性があるのであまり気を抜かないこと！

- アドバイス

仮に志望省庁でなくても、教養区分合格者向け説明会への参加はおすすめです。今後の過ごし方の解像度を高めることができますし、いやでも他の合格者の存在を認識するのでモチベーションを維持できます。

- 勉強時間

ほぼ0時間。志望動機（自己分析？）はふと考えて、ワードに打ち込んでいました。もし不安なら政策研究・省庁に関連する本を読むのはありだと思います！

- 勉強場所

実家（自分の机や食卓、犬のケージ）

【民間就活・公務員併願のあれこれ】

民間就活編

民間併願を考えている方向けに、絶対に気を付けてほしいことがあります。

それは、優先順位です。国家公務員総合職を第一志望において、民間就活を保険として行うのであれば、いかなるときも国家公務員総合職試験の勉強・説明会参加等を優先してください。

民間就活をしていると、どうしても民間に時間の比重が移りそうになってしまうことがあります。耐えましょう...！

一方で民間就活を通して、本当に国家公務員になりたいのか（向いているのか）を見極めることもできます。そういう視点で民間就活をすると少し気楽になるのではないかと思います！！

○民間就活を併願した人の体験談

まずは、民間就活を併願したLAの体験談です。高崎（政治国際・外務省）、吉田（政治国際・外務省）、高田（教養・農林水産省）がお答えします！

いつから就活を始めたのか

- 高崎 公務員：大学3年9月 民間：大学3年2月（本選考参加）
- 吉田 公務員：大学2年12月 民間：大学1年1月（1年間の学生インターン）
- 高田 公務員：大学3年12月 民間：大学4年6月（大学4年秋から休学）

インターンにエントリーした企業の数と参加した企業の数

- 高崎 エントリー：（3年夏）0社、（3年秋冬）0社
参加：（3年夏）0社、（3年秋冬）0社
- 吉田 エントリー：（3年夏）2社、（3年冬）3社
- 高田 エントリー：（4年夏）約20社、（4年秋冬）3社
参加：（4年夏）10社、（4年秋冬）3社

本選考にエントリーした企業と、内々定を得た企業の数

- 高崎 エントリー：5～10社 内々定：2社
- 吉田 エントリー：10社 内々定：1社
- 高田 エントリー：2社 内々定：2社

インターンや本選考では、どのような基準で業界や企業を選んだのか

●高崎

行き当たりばったりで結構適当に業界・企業を選んでいたので以下に経緯を書きたいと思います！

当初、自分の企業に求める条件・特性をもとにコンサルに向いていると判断しました。官公庁の案件を実際に動かしているのが、コンサル・商社等であるという話を聞き、仕事内容に魅力を感じていました。さらに、金銭的待遇も大変よく、省庁と比べたときの圧倒的な利点があることもポイントでした。まず、外資の戦略コン

サルにESを出して面接を受けました。が、結果として二次面接で落ちてしまいました。コンサル対策（フェルミ推定等）は特別な対策がある程度必要なので、民間併願先としてはあまりおすすめできません。面接内容はコンサル的論理的思考を問われるのみであったため、官庁訪問にもあまり役立たなかったです。

次に、コンサルと似ていますがより公的な色が強いシンクタンクにESを提出しました。今振り返ると、シンクタンクは2社しかESを提出しなかったんですが、シンクタンクのみは何社もESを提出するべきだったと思います。最初は仕事内容でしか企業を見ていなかったのですが、シンクタンクが自分の肌に合うと強く感じました。アカデミックな雰囲気があり、厳しいながらも利益を追求することをそれほど求めておらず（これは面接の中で非常に感じたことです！）、本の出版等も推進していました。また、飲み会などもそれほど多くなく、魅力的でした。**企業で働く可能性のあることを考えた上で、業務内容ももちろん大切ですが、業界・企業の雰囲気も同様に大事だと思います。**もし国家公務員試験が残念な結果になった場合に就職しようと考えている方はなおさらです！

シンクタンク以外にも、官公庁の案件を実際に動かしている商社・政府系機関（利益追求の必要性が低いため）にもESを提出しました。**説明会・面接などに行くと、企業の雰囲気は結構分かるのでなるべく対面で顔を出してみるのもおすすめです。**

●吉田

自分の場合、民間就活と公務員就活の「軸」は必ずしも共通していない。どちらの道にも進みたいと思え、どちらの道に進んでもそれなりに頑張れると思って。もともと動画編集やブログ運営の経験を活かそうと、WEB広告企業で一年間の学生インターンをおこなっていたことが大きい。自社の優れた商品やサービスをより多くの人に届け、「世界に見つけてもらいたい」というクライアントの気持ちにも共感でき、貢献できたときは素直に嬉しかった。その気持ちは、次第に「広告」という業界から、「人の悩みに寄り添い」「解決へむけて尽力する」という「行為」自体へと関心に移り変わっていったことで、のちにコンサル業界の説明会にも参加するようになった。（公務員としての在り方にも重なる部分でもある）

●高田

夏と秋のインターンは、業界関係なく、気の向くままに申し込みました。それぞれの業界研究・企業研究がほとんどできておらず、また適性検査の準備も皆無の状態だったので、申し込んだだけで通過しない企業も多々あり、ちょっと落ち込みました。

本選考では、実際に働きたいと思える企業のみエントリーしました。インターンを通じて、自分はより多くの人に豊かさを届けることに魅力を感じるのだと知り、また改めて日本の「食」を守ることに携わりたいと考えたので、民間の第一志望として農林水産業に関わる金融を受けることに決めました。

国家総合職を目指しながら、なぜ民間のインターンシップや本選考に参加したか

●高崎

安心感を得たかったからです。

国家公務員総合職が第一志望でその他の就職は特に考えてなかったです。もともと公務員試験に落ちたら、ロースクールに行こうと思っていたのですが、民間企業の

方がいいかもしれないと思い、1月ごろから就活アプリを入れたり、信頼できる友人・先輩から情報収集を行いはじめました。

●吉田

自己分析の前倒し、面接練習の前倒しの側面があった。自分が将来何をしたいか、どんな社会を実現していきたいのか、自分の得意な作業や思考様式は何なのか、これらの点は、官民共通で考えなければならないことだと思うので早めに取り組めたのはよかったと思う。

●高田

せっかく時間があるなら、農林水産省と親和性の高い企業も見ておきたいと思ったからです。日本の食環境を守る手段として、なぜ民間金融ではなく農林水産省で働きたいのか、説得力をもって話せるようになりたいと考えていました。

本選考の際、公務員受験を考えていることを、エントリー先の企業に伝えたか

●高崎

絶対に伝えないようにしていました。公務員受験をするということはその企業が第一志望ではないことがばれるので、単純にエントリー先の企業視点に立つとそんな学生は採用したくないだろうなあと考えたからです。ただ、どうしても公的利益に貢献したいといった旨の志望動機になってしまっていたので、どうして公務員ではなくその会社で働きたいの？のようなことを聞かれた際に納得感のある回答をする準備はしっかりしていました。

ちなみに、政府系機関の面接でうっかり国家公務員志望であることを言ってしまったことがあるのですが、しっかり落とされました。（もちろん因果関係は分からないですけどね！笑）

●吉田

伝えていた。内定をもらったIT広告ベンチャーの役員に外務省・経産省・JAXAとならんでその会社を併願している旨を伝えた際には、「ぶっとんでるねえ！」と言われた（たぶんいい意味で）。官民どちらに進むにしても応援してくれるような企業に行きたいと思ったし、何より自分を必要としてくれる場所がほかにもあることが心のよりどころにもなった。公務員試験の一週間前には「ダメだったらウチにこい」と言って背中を押してくれた。内定辞退の連絡をする際には相当申し訳なかったが、最後も「公務員に進んでもがんばれよ」と言ってもらえたことで民間就活をしていてよかったなあとしみじみ感じていた(((大脱線失礼しました)))。

●高田

受けていた民間企業の志望動機があまりにも農水省と同じで、併願がばれました。何度か面接にて志望度合いについて聞かれましたが、「民間の中では御社が第一志望です（本心）。農水省と御社はそれぞれの良さがあり、なかなか決めきれず困っています。」などと誤魔化しました。ちなみに、管理職との最終面接では、どうも忖度してしまい、「御社が第一志望です！」と言い放ってしまいました。罪悪感はあるものの、本当にその企業に行く気があるのであれば、多少の虚言は許されるの

ではないかと...信じています...

インターン・本選考に参加したことで、国家総合職試験や官庁訪問で役立ったこと

●高崎

役立ったこと（メリット）は大きく2つです。

1つ目は、安心感を得られることです。民間併願をし、行きたい企業（自分が納得できる企業）から内定を得られることで、安心して公務員試験の勉強に取り組めたり官庁訪問に臨めるようになりました。落ち着いた心で過ごすことができると、よく寝られたり堂々と面接に取り組めたりと、公務員試験のパフォーマンスをあげることができると思います。

2つ目は、面接練習の機会になったことです。①ESの書き方②書いた内容からどのような質問がされやすいのか③面接における自分の特徴④自分のどういう点が評価されやすいのか⑤自分の押し出したい長所を最もよく表すエピソードは何であるのか等を実践の場で知ることができます。**また、実際の年配の面接官を前に面接ができる経験は、本当に貴重だと感じます。私自身、企業からいただいた面接のフィードバックがその後の官庁訪問でも大いに役に立ちました。**詳しく聞きたい方はぜひ質問してください！！

●吉田

「自分が何をしたいのか」を納得しながら整理できたこと。たぶんどの業界に行っても、どんな仕事をしていても自分は頑張れる。問題は、「どの分野で」力を発揮するか、そしてその力が「どこまで世界に波及していくか」だと思った。民間企業が社会で果たす役割の大きさや掲げるビジョン自体には共感できていたのだが、それと同時に、おそらく自分が社会に関われるのは「その分野において」でしかないと思ってしまった。社会の一側面で自分なりに頑張るのと、社会の最も大きなアクターとして世界に働きかけるのでは、残せる結果の大きさも、及ぼせる影響の大きさも全然違うと思った。

●高田

自分がどのような組織に関心が持てるのか明確になりました。自分の興味が沸いた企業を振り返ると、比較的規模の大きい企業が共通点として挙がりました。そこから、「たくさんの人に役立つ仕事」「より多くの人に豊かさを提供できる職業」に就きたいとの気持ちを固めることができました。さらに、本選考を通して、官庁訪問にて、なぜ民間ではなく省庁でなくてはならないのかについて、明確な理由をもって言えるようになりました。また、省庁の政策（補助金）がどのように民間の現場で活用されているのかについても直接民間企業の職員さんから何うことができ、視野が広がりました。

いつ公務員を第一志望にすることを決めたか

●高崎

大学3年の夏に参加した外務省のインターンです。もともとロースクール進学か公務員かで考えていたのですが、インターンを通して、ここで働きたい！と強く思う

ようになり、公務員の志望度がぐっとあがりました。

●吉田

1年生の冬から2年生の冬にかけて参加したインターン。民間を知らずに公務員を目指すのは自分でも納得がいかないと思ったので、1年生の頃から民間を知る努力はしていた。結果的には、公務員の道に進む意志を再確認するようになった。

●高田

大学3年の冬の段階から漠然と第一志望でした。その後、就活を行う中で、自分にはこの組織が合っているとの確信に変わりました。

公務員就活との両立で気を付けていたこと、実践していたこと

●高崎

国家公務員総合職を第一志望において、民間就活を保険として行っていたので、いかなるときも国家公務員総合職試験の勉強・説明会参加等を優先するように気を付けていました。

また、民間就活のデメリットに飲み込まれないようにすることも気を付けていました。民間就活のデメリットは以下2つであると思っているのですが、少し詳しく書いたので見てみてください～

1つ目は、民間就活に時間を取られてしまうことです。実際、ESを出す企業を決めたり、企業を決めて説明会にでるためにかなり時間が取られました。公務員試験の勉強は欠かさずしていましたが、外務省の説明会にあまり出られていませんでした…。落ちてたら、本当に後悔したと思います。また、民間就活をしているとどうしても多くの企業にエントリーしてなんとか内定を得たくなります。ぐっところえましよう。

2つ目は、民間就活でメンタルが追い込まれる可能性です。民間就活では、複数企業から落とされることが前提になります。ガチで就活してても当然何十社も落ちるので、公務員第一志望の人が落ちるのは本当に当然です。受かったらラッキー、落ちても面接対策として有意義だった、と思うメンタルが必要になります。**私は、公務員試験勉強に飽きたときに息抜きの民間就活対策をするように心掛けていました。**

●吉田

本筋は公務員試験であることを忘れずに取り組んだ。民間就活をするにしても、公務員対策にも共通する「自己分析」「面接」の対策に重点をおいて取り組んだり、経産省と併願する関係で、省庁の決定が民間企業にどう波及しているかを理解するために説明会等へ参加したこともあった。本筋は公務員。その解像度を上げるために、企業の動きを学びに行く。このマインドは役に立つ。

●高田

夏インターンの経験から、どれもこれも本選考にエントリーするというのは自分に向いていない（キャパオーバーになってしまう）と気づいたので、民間の本命は1社と決めていました。

民間就活を終えて、受講生の皆さんにメッセージ

●高崎

民間就活をすることで、国家公務員の仕事のいい面・悪い面色々見えてくると
思います。民間就活は、内定先をただ得るためのものではなく。国家公務員をしっ
かり理解する手助けになるので、自分の将来を見つめながら視野広く就職活動をし
てもらえたらよいのではと思います！！

●吉田

どんな世界・社会を実現したいのか、どんな分野で活躍したいのか、誰にどう思
われたいのか、きっと色々なことを考えながら就職活動をしていることと思いま
す。私自身、就活を終えて思うのは、**自分の「進路」は、良くも悪くもこれまで自
分が歩んできた道の延長線上にある**ということです。これは、鳴かず飛ばずの人生
が今後も一生変わらない、みたいな悲しい意味ではないです。**進むべき道は、全く
未知のように思えても、実はこれまでの人生の中で、無意識のうちに自分が大切に
してきた「価値観」や「感情」、「あの日の思い出」の再構築につながっている**
ということです。

私自身、これまで東北の片田舎で育ってきた人生であるが故に、心の底でより
「遠く」「広い」「未知」の世界を目指す気持ちは相当に強かったと思います。**そ
の想いの強さの裏返しとして、民間企業で「限られた顧客に」「限られた領域で」
「限られた能力」を活かす人生に納得がいかなかったのだ**と思います。ぜひみなさ
んにも、これまで自分を突き動かしてきた感情や出来事を突き詰めて、実現したい
社会・自分の在り方を明確化してほしいと思います。応援しています。

●高田

公務員と民間どちらか本気で迷っている人、公務員志望だけれど民間も一応見てみ
ておきたいという人、就活慣れのために民間で面接練習をしようと考えている人な
どなど...、一言で「民間就活をする」といってもその目的は人それぞれだと思いま
す。限られた時間をより有効にするためにも、なぜ自分自身が民間就活をしている
のか（したいのか）、改めて目的を確認しておくことをおすすめします。それを考
えるにあたって不安な部分などあれば、ぜひご相談ください！

○民間を併願しなかった人の体験談

続いて、民間を併願しなかったLAの体験談をご紹介します。経験しなかったとは
いっても、インターンには参加していたり、少しばかりエントリーしたりしていま
す。その上で、なぜ国家公務員を最終的に選択したかなども回答しているので、参
考にしてみてください！

いつまで民間就活をしていたか（インターンの参加状況など）

・北（デジタル庁・経済区分）

日程	民間就活	公務員試験勉強・官庁訪問対策

11月	説明会 3 社程度	学習： 数的処理 1 日平均 2 時間 官庁訪問対策： 内定者カウンセリング
12月	説明会 3 社程度	学習： 数的処理・専門（経済理論） 1 日平均 2 時間 官庁訪問対策： 説明会・座談会参加（総務・国交中心）
1月	なし	学習： 数的処理 専門（経済理論,財政学） 1 日平均 5 時間 官庁訪問対策： 説明会・職員訪問・政策ワーク シヨップ参加
2月	なし	学習： 専門（経済理論,財政学・経済政策,統計・計 量経済学） 1 日平均12時間 官庁訪問対策： 説明会・職員面談・政策ワークショップ参加 (複数省庁)
3月	なし	学習： 専門（財政学・経済政策,統計・計量経済学・ 国際経済学,経営学,経済史・経済事情） 一日平均12時間 官庁訪問対策： 説明会・座談会（デジタル庁中心）

・ 曾山（内閣府・法律区分）

日程	民間就活	公務員試験勉強・官庁訪問対策
9月	WEB合説3回、個別説明会2社、 半日インターン1社、インターン面談1社	国総:民間 = 8:2くらい。 農水省×1、内閣府×1、TAC合説(法務、総務、環境)
10月	WEB合説1回、個別説明会1社、半日インターン2社 この他にもちょこちょこESを出していた。 →色々見てみたが結局民間でやりたい仕事を見つけられなかったこと、国総の勉強に追われていたこと、面接などで公務員就活していることを隠すのがストレスだったこと、等の理由で民間就活を中止。	内閣府がビビッと来る。 内閣府×4、厚労省×1、衆議院法制局×1、衆議院事務局×1
11月	なし	内閣府×4、厚労省×1
12月	なし	内閣府×3、厚労省×3、法務省×1
1月	なし	内閣府×2、厚労省×1
2月	なし	内閣府×4、厚労省×3(内職場訪問×1)、人事院×1
3月	なし	霞が関OPENゼミ(内×2、厚×1)、内閣府×5、厚労省×1

民間就活を辞めた理由（国家総合職・民間の比較から）

●北

自分の学習状況や大学のテストや公務員の説明会等を踏まえて十分に国総就活にリソースを割けないと感じたから。（今思えば全然出来たと思うが結果論）

また民間と公務員の説明会どちらも参加してみて惹かれるのはやはり国総であると強く感じたから。

●谷口（過去のL A）

イマイチ民間企業の理念に興味を惹かれなかったからです。また、社会のメインユニットである企業に属するよりも、それらをサポートする公務員の方が自身の性格に合っていると考えたからです。

受講生へのメッセージ

●北

民間就活しなかったため十分に国総就活に時間を存分に使えたように思います。ただし周りの友人たちが続々と民間で内定を取り続けていく様子を見ると少し焦ったような気もします。そんなときでも積極的に省庁の説明会に参加し続け、国家総合職という仕事に対する自分の情熱を再認識することで、継続して周りも気にすることなく学習・就活が出来たように思います。

しかし民間就活をやっておけばもしかしたらもっと面接を上手にこなせたかなと後悔はあります。民間就活するのかどうか、どこにエントリー出すべきなのかそれは自分の置かれている状況、これまでの経験を踏まえた上でどんな社会課題にどのようにして自分が関わられるかを第一に考えることが大事だと思います。私はそこをしっかりと考えた上で、やはり自分は死んでも国総一択だと強い気持ちを常にもつことで内定を獲得できた気がします。

もし悩んでいる方や周りが内定を獲得し始めて焦っている方が居れば私たちLAが全力でサポートします！

●谷口（過去のL A）

個人的には民間就活を辞めたことに後悔はありません。しかし、民間企業の合同説明会やインターンに参加したことは良い経験であったと思います。自分がなぜ国家総合職を目指すのか、公務員の役割と民間企業の役割の違いとは、など民間就活をしなければあまり深くは考えなかったこともあり、官庁訪問や人事院面接にも反映できたと思います。ただ、志望理由が明確である場合などは特に行う必要性も無いのでは...？と思うので、民間就活をしていないことで焦ったりする必要もないと思います。

公務員併願編

年末年始になり、公務員併願を考えている人も併願するか悩んでいる人も、どの試験を併願しどのように対策しようか考え始める時期だと思います。そこで、この項目ではLAの経験を踏まえて公務員併願のあれこれについてお伝えすることで、皆さんに公務員併願についてのイメージを持っていただけたらと思います。

併願をした理由

●曾山

民間併願をしていなかったのも、リスクヘッジとして公務員を併願しました。大学院進学や留年は考えていなかったですし、大学受験の経験から、追い込まれると良いパフォーマンスができないタイプだという自覚があったため、心に余裕を持つために併願しました。また、法律区分だったので、追加で勉強をしなくとも他試験に対応しやすかったという理由もあります。

併願をしなかった理由

●北

「公務員になりたい」というより、「国家総合職になりたい」という思いが強かったからです。国民の方々に何らかの形で貢献したいという思いももちろんあったのですが、国民のために働く**公務員の方たちも支えたい**という思いも同時に持っていたので、その両方を達成できるのは、分野横断的でかつあらゆる場面で調整役を担う国家総合職だけだと考えました。

●高田

岡山県庁や一般職受験も一時期考えていました（考えてただけで勉強はできていない）が、1-2月にイタリア渡航の予定があったので、勉強時間確保の面から現実的ではないと判断しました。また、年末ごろ民間1社から内々定が出たことでリスクヘッジはできたので、選考に参加するのは本当に希望する組織だけに絞り、官庁訪問対策に全振りしてしまおうと決めました。

●高崎

公務員になりたいというより、外務省（農林水産省）に入りたいという思いを持っていたので、国家一般職や地方上級との併願は考えていませんでした。

ただ、それとは全く別の視点で、心理系と法律系の仕事に関心があったので、裁判所調査官の一次試験のみ受けました。説明会にも一度だけ参加しました！一次試験内容が基礎能力試験のみだったので、勉強はしていません。二次試験は、試験前に国家公務員総合職の合格発表があり、納得のいく民間企業からも内定をもらっていたので受けなかったです。

公務員併願先の決定方法

公務員の併願先は多種多様、とても豊富なためどの試験を併願すればよいか悩むという人もいるかもしれません。そこで、併願先を決定する際に意識するとよい視点を3点紹介し、実際にLAはその視点に立って併願をしていたかお話ししていこうと思います。

●志望度

これが一番大切な視点だと思います。本命である国総に割く勉強時間を減らしてまで併願するわけですから、最終的にそこで働くことに前向きになれる職種を併願先とするのがよいと思います。例外として、次項で述べる試験科目の重複度合いが高い場合がありますが、基本的には志望度の高さは重要な視点だと思います。

●試験科目の重複度合い

国総の試験科目併願先の試験科目がどれだけ重複しているかも大切な視点です。本命である国総と科目が重複していれば併項願先に割く勉強時間を減らすことができますし、当然合格率も高くなります。今の時期から併願先に考えている職種の試験科目、そして過去問を参照しておき、併願に必要な勉強量を想定しておきましょう。

●試験日程

試験日程は直前期になって重要になってくる視点です。国総と試験日程がかぶっている試験種はありませんが、国総の1次試験の1週間後に筆記試験がある職種であったり、官庁訪問の数日前（場合によっては官庁訪問中）に最終面接がある試験種があったりとかかなりの過密日程になっています。とはいえ、筆記試験は基本週末にしかないので、1週間おきならば負担にならないという人もいるでしょう。各個人の状況に合わせて試験日程を調整してほしいと思います。

（例）曾山の公務員併願状況

	志望度	科目	日程
衆議院事務局総合職	◎	◎	◎
参議院法制局総合職	○	◎	◎
東京都庁	○	◎	◎
国家一般職	△	△	△(官庁訪問前日)

裁判所事務官総合職	○	?	×(参法の二次面接と被る)
横浜市役所	×	○	×(官庁訪問中)

おわりに

国総の勉強をしている人は公務員併願先の選択肢も多く、また魅力的な職種も多く存在するため悩む人も多いと思います。本命である国総の対策に集中し合格する可能性を少しでも高くするべきという人もいれば、国総のリスクを考慮して併願するべきだという人もいるでしょう。

今回お話しさせていただいた内容を参考に、皆さんの状況（勉強の進捗、国総の志望度など）に応じて公務員併願について考えてもらえればと思います。

【専門区分】LAの勉強スケジュール（12月～1月）

法律区分：曾山

〈LA曾山の勉強スケジュール〉 ※24年度は23年度より試験日程が早まるため、ご注意ください。

時	基礎	専門択一(必須)						選	記述
		憲法	民法総論	物権	債権総論	債権各論	行政法		
12月第1週	主に数的処理。毎日判断推理を2問、資料解釈を週末に2問、数的推理を週末に1, 2時間程度。ただ、専門科目に追われて達成できないときもあった。	・問題集のミスを一週。 ・テキスト復習。	・問題集4 周目完了	・問題集3 周目。	・債務不履行、責任財産の維持復習。	契約総論、 売買・賃貸借復習。	・問題集2 周目(手続き、情報) ・講義13回目。	・刑法復習	・憲法講義 ・憲法の論証を覚え始める
12月第2週			・テキスト復習。	・問題集3 周目続き。 ・テキスト担保物権～ 抵当権復習。	・消滅、多数、譲渡復習。	・事務管理復習。	・問題集2 周目(国賠、損失) ・講義13回 目の演習。 ・講義14回目。		
12月第3週		・テキスト復習1時間＋論証暗記30分を毎日行う。	・テキスト復習。	・テキスト復習。	・問題集3 周目。(1日2時間程度)	・問題集2 周目完了。	・講義14回 目の演習。		
12月第4週		・問題集の人権編を一週。 ・テキスト復習30分と論証暗記30分を毎日行う。	・1日1ト ピック復習。	・1日1ト ピック復習。 ・問題集4 周目。	・問題集4 週目 ・テキスト暗記は電車で。	・問題集3 周目。	・問題集2 周目(抗告訴訟)。		
12月最終週		・問題集の人権編、統治編を一週。			・1日1ト ピック復習。 ・テキスト暗記は電車で。		・講義15回 目＋演習。		
反省点	特になし	専門択一はひたすら問題集とテキストの繰り返し。テキストを復習する際は論文も意識して、定義を覚えたり一つのテーマについて空で言えるか試したりした。行政法は講義の消化、憲法と民法は年内に完成させることを目標にしていた。							

〈LA曾山の勉強スケジュール〉

時	基礎	専門択一(必須)						選	記述
		憲法	民法総論	物権	債権総論	債権各論	行政法		
1月第1週	・数処 2問/日		・時効の講義を聞き直す。 ・テキスト復習。	・講義を聞き直す。	・テキスト復習	テキスト復習	・講義⑮ 視聴、演習 ・問題集(不服、争訟)	・労働法② 視聴	なし
1月第2週		・問題集	・問題集 ・債権各論テキスト復習(賃貸借)				・問題集	・労働法③④ 視聴	・憲法答練① ・民法答練①
1月第3週		・テキスト ・問題集	・テキスト ・問題集 ・演習②③終了					・刑テキスト ・財政学講義	・憲法答練② ・民法答練②③
1月第4週		・テキスト ・問題集					・行政法演習①②③ ・テキスト復習 ・問題集	・財政学問題集	
1月の進捗		・問題集3周目終了 ・演習1,2回復習	・家族法問題集2周目終了 ・テキスト1周				・問題集3周目終了 ・演習①②③		
反省点	専門に追われて2問もできず。	・手帳に詳しい記録が残っておらず、曖昧な表現ばかりでごめんなさい ・ひたすらテキスト復習と、過去問題集をやっていました。時々答練を解いたり、択一の演習を行っていました。 ・特に民法の不安な単元(物権・時効)は、講義を改めて聞き直していました。							
1月模試の結果	・文章8/11 ・数処8/16 ・知識7/13 ・合計23/40(平均20.7)	7/7	6/12			10/12	商法1 刑法2 労働法1 国際法1 財政学1		
		・合計29/40(平均22.0) 民法が半分しか取れなかったため、2月以降は改めて民法に力を入れることにしました。							

政治国際区分：高崎

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
12月第1週	なし	政治学・国際関係の動画視聴を終えることを目標に頑張る（徹夜覚悟）	なし。専門記述は1次試験終了後に勉強開始。
12月第2週	なし		
12月第3週	・資料解釈のレジュメを読み、問題を2問解く ・基礎能力模試を受ける（自分の立ち位置把握）		
12月第4週	・資料解釈のレジュメを読み、問題を2問程度解く		
良かった点	・年内に数的処理・文章理解の点数の目安を立てられた点		
反省点	・政治学・国際関係の動画視聴を終えたのが結局年明けになってしまった点		

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月第1周	なし	政治学・国際関係の動画視聴を終える	なし。専門記述は1次試験終了後に勉強開始。
1月第2週			
1月第3週			
1月第4週			
良かった点	動画視聴を終えた点		
反省点	なし		

政治国際区分：吉田

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
12月	数的処理：毎朝8:30~10:30 ・判断推理→毎日3~5問 ・資料解釈→1問15分×2で演習。 それ以外の分野は手を付けず 文章理解：特になし 知識科目：①日本思想②西洋思想③日本近代史④世界史を夜な夜な勉強。	必須科目 ：政治学と国際関係の受講を年内に終わらせる。演習は年明けから。 ①政治学 ：人物、理論、概念を覚える。別のノートを用意して書きながら覚える。 ②国際関係 ：政治理論、冷戦・軍縮史、国際機関の機能をまずは覚える。 選択科目+憲法 ：まさかの“ノータッチ”	なし
反省点	早い段階から分野を絞りすぎていた感是否めない。計算で解ける問題はもう少し準備しておけばよかった。	年内に憲法も受けた方がよかったが、ゼミや説明会などでなかなか時間が作れず。でもしゃーなし。	なし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月	数的処理は12月の内容に加えて、確立と場合の数を解き始めた。 知識科目は、日本近代史と東洋西洋思想史を専門択一の息抜き程度に。	お正月から憲法と国際法の受講をスタート。1月中にとりあえず受講だけ終了。 政治学と国際関係は演習 行政学は1月末から受講。 財政学は2月から受講。	政治学と国際関係論の論述を2回ずつくらい書いて、添削に出す。
反省点	基礎能力の反省は上に同じ。専門択一については、急いで受講した科目が多く、暗記や復習の丁寧さに欠けた部分は否めない。でもそれでいい。不安な部分は繰り返し視聴して覚えよう		時間がなくて、添削から返ってきた内容をあまり確認していなかった。

経済区分：北

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
12月第1周	数的処理を1日5問解いていた	経済理論の問題集を ひたすら解く 財政学もミクロパートに手 を出す (ミクロは完成していた)	特になし
12月第2週			
12月第3週			
12月第4週			
12月最終週			
反省点 もう少し早く数的処理を自信持てる状態にしておきたかった 経済理論の学習をもっと早く完成させておくべきだった ←これが一番の反省 模試完成していれば他の科目は経済理論の派生であることが多いので、もっと早く習得できていたと思う。			

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月第1週	文章理解と数的処理を数問ずつ	経済理論、財政理論、 経済政策 (理想としてここまでで必 須科目はすべてできる程度 になっておきたい)	特になし
1月第2週			
1月第3週			
1月第4週			
反省点 択一に自信がなかったから手を付けなかったが、答練に手を出してもよかった。 大学のテスト期間と丸被りで思うように時間が取れなかったためスケジュールがずれた。 しっかりとけいかくをたてるべきだった。			

【前回いただいた質問への回答】

Q. TACの受講スケジュールに合わせるべきですか

A. 可能であれば合わせるべきですが、自分に合っている学習法が見つかったら合わせる必要も無いと思います。今月も年末年始の学習スケジュールを載せているので、よければ参考にしてみてください！

Q. 学業と試験勉強の両立はどのようにしていましたか

A. 時期によって優先順位を変えるのがいいのかなと思います。やっぱり単位は必要なので、大学のテスト期間はテストに時間を割く、またゼミ等で忙しい時にはそっちに時間を割くなど、バランスを考えましょう。また、単位を取るために必要な勉強量を把握して、計画をたてながら効率よくこなすのがおすすめです。

Q. どのようにメンタルケアをしていましたか

A. ストレスの発散方法は、人によって様々です。時間を決めてYouTubeをみたり、おいしいものを食べたり、部活に熱中したりと、自分に適した方法を探してみましよう。

北：温泉に行くこと、運動することでストレス発散していました。

近所をフラフラして意外と知らなかったお店などを発見するのもストレス発散の一つでした！

Q. 外務省志望なのですが、日々読んでいた本はありますか

A. 吉田：外務省が出している隔月雑誌「外交」、外務省経済局が編集している「我が国の経済外交2021-2022」で現状の議論にキャッチアップするようにしていました！「外交」に限らず、学術雑誌は物事を体系的に理解するのに良いと思います。ニュースで断片的に知識をつまみ食いするのではなく、報道された「大きな出来事」にどんな歴史的背景があって、何がきっかけでコップの水があふれてしまったのかを周辺知識と合わせて理解できます。

高崎：特に読んでいなかったです…。ただ、これはかなり後悔があって、官庁訪問の際に周りの志望者と話したりしていると、政策やニュースの知識のなさのせいで緊張したり恥ずかしくなったりしていたので、吉田を見習うべきです。

Q. OB・OG訪問の回数はどうすればいいでしょうか

A. 個人的に行うのであれば、回数というよりは、省庁に関する自分の疑問が解決できていることが大事だと思います。各省庁で実施しているものは重要な場合もあるので、政策研究などを通じて出てきた疑問などを積極的に聞いてみましょう。

Q. 職員訪問の準備はどんなことをしていましたか

A. まずは自分の聞きたい分野や政策を伝えましょう。省庁によりますが、当該分野の職員さんをマッチングしてくれます。次に逆質問リストを作成しましょう。なぜその分野に関心を持っているのか、政策の疑問点・課題点、実現してみたい政策や自分の考えなどをまとめていました。事前に質問リストを作成することで、緊張せずに臨むことができます。プラスαで、入省して最もやりがいを感じたこと、職員の雰囲気、仕事の軸などを聞いても良いと思います。政策を動かしている職員さん

の生の声を聞ける機会はとても貴重です。せっかくの機会を無駄にしないよう、事前準備は入念に！

Q. 官庁訪問体験談をお聞きする機会がありますか

A. 官庁訪問関連については1月以降のHRに実施する予定です。

Q. ESの書き方について教えてほしいです

A. 官庁訪問の志望動機の書き方については1月以降のHRで実施する予定です。1月にES相談会も開催し、書き方レジュメも配布する予定なので、お楽しみに...！！

【今後の告知】

★LAカウンセリング★

内定者アドバイザー（LA）は皆さんのご相談をお待ちしています！
相談内容は何でも結構です！



北圭佑

- #経済区分/デジタル庁・人事院
- #単願の鬼
- #志望官庁迷走の経験
- #勉強してない汗って人も相談大歓迎



高崎萌寧

- #政治国際/外務省/農水省
- #初学・短期決戦型
- #民間(シンクタンク)併願
- #元法曹志望



吉田統磨

- #政治国際/①外務省②経産省
- #言語化の鬼
- #専門択一8割の勉強法
- #面接対策ガチ勢

在席日一覧は
コチラ





高田萌奈

- #教養区分/農林水産省
- #人文系学部
- #就活中にイタリア渡航
- #省庁イベント活用のコツ



曽山稔理

- #法律区分/内閣府
- #公務員併願(法律)
- #話下手の官庁訪問の乗り
越え方

予約はコチラ



★お一人何回でもご利用いただけます！試験や面接、官庁訪問や志望動機についてなど、なんでもご相談ください。★



★1月ホームルーム★

「国家総合職合格への道～？？～」

内容：省庁研究のアドバイス・記述対策（仮）

1/19（金）18：30～19：30 オンライン

1/24（水）16：30～17：30 新宿校

アンケートのご回答をお願いします！

